



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96.6.25 No.4420

基地をなくせ! 安保をつぶせ! 沖縄の闘いに連帯する

6・23 全国反戦集会開催

朝鮮侵略戦争阻止を掲げて 芝公園に二二二〇〇名が結集

反戦共同行動委員会主催による、「基地をなくせ! 安保をつぶせ! 沖縄の闘いに連帯する六・二三全国反戦集会」が、二・二五〇名の参加の下、東京・芝公園で開催されました。

佐藤芳夫反戦共同代表の開会あいさつで始まった本集会は、はじめに、全国各地から、反戦反基地・反安保闘争の報告、三里塚、北富士、関西新空港、阪神被災地、破防法闘争の訴えをうけ、つづいて、沖縄から知花昌一さん(象のオリの反戦地主)、宣保幸男さん(元沖縄連帯共闘議長)が登壇しました。



【写真右】芝公園23号地を埋めつくす集会参加者。

知花さん、宣保さんが本土に檄

五月一四日に引き続き、昨日(六月二二日)、二度めの立入りをかちとつた知花さんは、「昨日の立入りは、三〇名で二時間、第一回目は家族が中心でしたが、今回はこれまで沖縄の闘いを支えてくれた各運動体の人達に確認の意味も含めて入ってもらいました。これは、この闘いを全国に、明日にひろげるためです。」

来年の五月一四日、三〇〇〇名の土地の大量な使用期限切れが控えています。象のオリだけで、これだけの闘いができるのです。ゆっくり、ゆっくりですが確実に勝利に向っています。

しかし国は、軍用地の強制使用のための特別立法を制定し、沖縄だけに適用しようとしています。沖縄は未来永劫、基地と共存・共栄しろということですから、国はとんでもない強盗集団であり、ウソつき集団です。

この闘いを、日本全体の闘いとして、安保条約をメタメタにする闘いとして、安保にしがみついている日本の政治のあり方を大きくかえていく、大きなうねりをつくりだしましょう。

毎週、毎週、本土での集会に



参加してはいますが、沖縄の現実は今かえなければかわらない、それに応えようとする気運が高まっています。共に、安保粉砕基地をなくしていく闘いをやりぬきましょう。

秋の闘いに 進撃を!

つづいて発言した、宣保さんは、「大田知事と反戦地主の闘いが結合し、全国の共感、闘いが広がっています。沖縄の未来と本土の未来を一つにしようではありませんか。」

命どう宝(ヌチドウタカラ) 命ぞ宝、このことをしっかりと踏まえて、傍観者の利己主義におちいることなく、地球上から基地をなくす、軍隊をなくす、命と人権を大切にす。



強い絆で、今後も共になんばつていきましょう。」と、本土の闘いに激をはっしました。

特別報告として田中書記長が安保・沖縄闘争と国鉄闘争を軸に日本の労働運動を作りかえること、正念場の国鉄闘争についてアツピールをしました。決意表明、「日米安保共同宣言を弾劾し朝鮮侵略戦争を許さない決議」「沖縄米軍用地強制使用のための特別立法制定反対決議」を採択し、きょうの闘いを、第三次安保・沖縄闘争を爆発させていく新たな闘いの出発点とし、秋の大闘争へ進撃することを確認し、デモを貫徹し、集会は大成功のうちに終了しました。